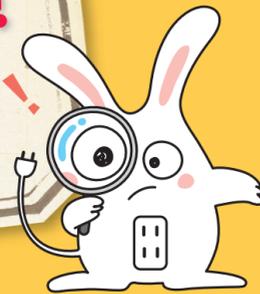


分電盤は電気の見張り番!

私たちの快適な暮らしを支えてくれる電気。家庭に送られてきた電気は、分電盤をとおりて各部屋に届けられます。分電盤には、アンペアブレーカーや漏電遮断器(漏電ブレーカー)、配線用遮断器(安全ブレーカー)が取り付けられており、電気的安全をしっかりとガードしています。万一の場合にそなえて分電盤がどこにあるのか、確かめておきましょう。



アンペアブレーカー

電力会社との契約用ブレーカーで、契約アンペア以上の電気が流れると自動的に電気が止まるしくみになっています。



漏電遮断器(漏電ブレーカー)

感電や火災の原因となる漏電をすばやくキャッチし、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。漏電遮断器には、正しく動作するかどうかチェックできるテストボタン(灰色または赤色)がついています。長期間使用していると、使用環境などにより漏電遮断器が正しく動作しなくなることもありますので、ご家庭で定期的に確認するようにしましょう。テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。なお、取り替えの目安は15年程度です。また単相3線式の配線には、「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」をおすすめします。

漏電している電気器具があると漏電遮断器が作動して、電気を止めます。

漏電

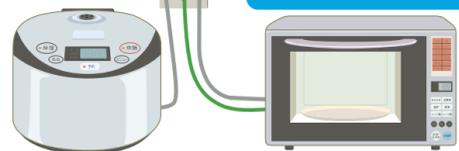
中性線欠相保護機能付き漏電遮断器とは?

多くのご家庭で使用されている単相3線式配線では、中性線(真ん中の白い電線)の接触が悪くなると電圧が不安定になり、電気器具が故障することがあります。これはごく稀に漏電遮断器の端子部分のゆるみなどが原因で起こることがあり、「中性線欠相保護機能」は、このようなときに、いち早く電気を遮断するもので、安心して電気をお使いいただけます。

配線用遮断器(安全ブレーカー)

電気の行き先(回路)ごとに、配線用遮断器がついており、配線が過熱するのを防ぐため、決められた容量を超える電気が流れると自動的に電気を止めます。たとえば、容量が20A(アンペア)の場合、コードがショート(短絡)したり、器具の使いすぎで20A(2,000W)を超える電気が流れると、その回路の遮断器が作動して電気を止めます。エアコン、電子レンジ、衣類乾燥機などの電気を多く使う器具は、専用回路にすることをおすすめします。

容量オーバー



電気炊飯器10A(1,000W)と電子レンジ12A(1,200W)を同時に使用すると合計で22A(2,200W)となり、配線用遮断器の容量20A(2,000W)を超えるので配線用遮断器が作動して、電気を止めます。

コード短絡保護機能を有する配線用遮断器

配線用遮断器には、コードなどのショートを検知して、瞬時に遮断するコード短絡保護機能を有する配線用遮断器があります。ショートは、電気機器を使用していなくても、差込みプラグがコンセントに差し込まれ電圧がかかっていたら発生し、火災になるおそれがあります。このコード短絡保護機能を有する配線用遮断器は、初期段階のショートの発生を検知して電源を瞬時に遮断することができるので、火災の発生を防ぐのに大きな効果があります。

電気の工事は電気工事店へ

電気の屋内配線工事は、「電気工事士」の資格を持った人が安全基準を守って工事をするように法律で定められています。電気の工事が必要なときは、電気工事店に依頼してください。

災害にそなえて…

災害はある日突然やってきます。普段から災害時のそなえや心がまえをしておけば、いざというときにもあわてずにすみます。

地震・雷・風水害などの自然災害にそなえ、電気的安全に努めましょう!

アツ地震! グラツときたときは

スイッチを切って、プラグを抜いて

地震のとき怖いのは火事。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す器具を使っているときは、プラグをコンセントから抜きましょう。



避難するときは、アンペアブレーカーを切って

地震で停電になっても、電力会社の設備に異常がなければ、再び電気は送られてきます。避難するときは電気の消忘れなどによる事故を防ぐために、分電盤のアンペアブレーカーを切ってください。地震がおさまったら電気器具の安全をチェックしましょう。ガス漏れのおそれがあるときには電気を使用しないようにしましょう。

感震ブレーカーをつけましょう!

感震ブレーカー(リレー)は設定値以上の震度を検知して配線用ブレーカー、または漏電用ブレーカーなどを遮断させるものです。地震後の火災の多くは、電気が復旧し通電したことが原因であり、地震時に確実にブレーカーを遮断させる感震ブレーカーの設置は、地震後の火災を防ぐために有効です。



【クロスワードパズルのこたえ】アンゼン

ピカッ、ゴロゴロ雷だ!

プラグを抜いて!

落雷による影響で、電気器具が壊れたり、火災が発生することがあります。雷が鳴ったら、プラグはコンセントから抜き、電話線もモジュラージャックから抜くようにしましょう。



なお、雷に対応した分電盤もあります。分電盤に避雷器が内蔵されているため、電源線、アース線から侵入する雷サージを防ぎ、家庭の電気器具を守ってくれます。

台風がやってくる前に!

屋外照明器具などをチェック

屋外に設置されている照明器具やアンテナなどが暴風に耐えられるか確かめましょう。屋内配線や電気器具が水にぬれてしまった場合は、使用前に必ず電気工事店、または電力会社などにご相談ください。



切れた電線には絶対にさわらないで!

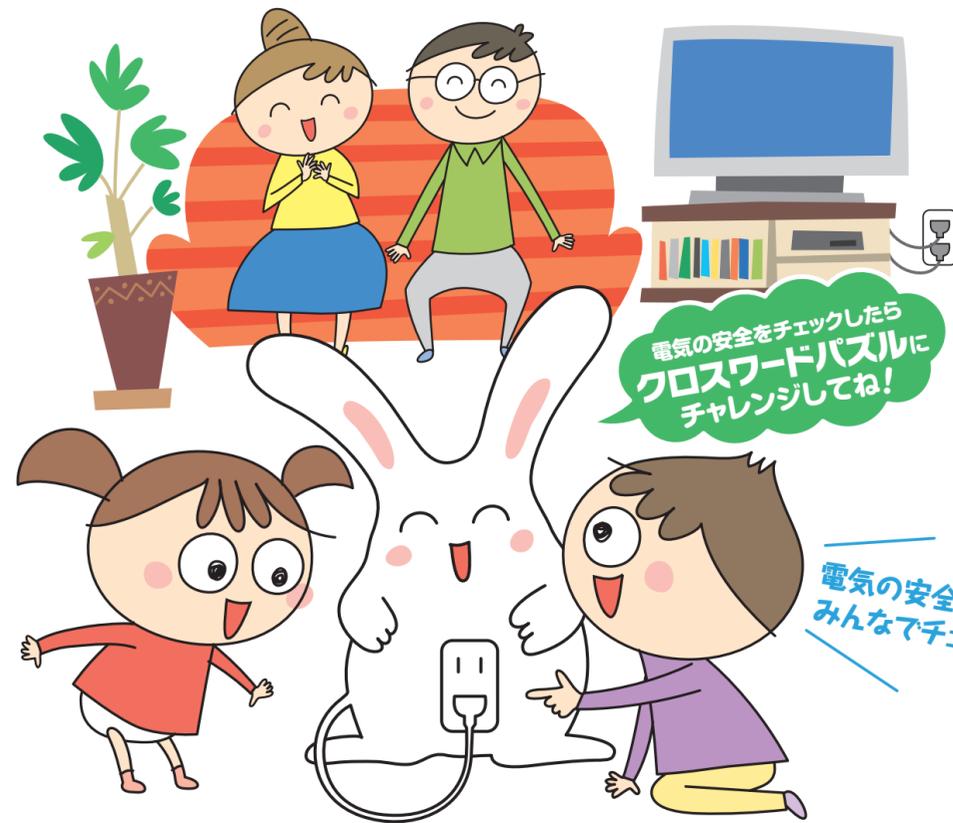
電力会社へすぐご連絡を

たれ下がった電線にさわると感電するおそれがあります。切れた電線には絶対にさわらないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線がふれている場合も危険です。見つけたときには近づかないで、すぐ、お近くの電力会社にご連絡ください。



※日頃から、懐中電灯(手動発電式のものもあります)や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。また、電力会社や電気工事店の連絡先を確認しておきましょう。
※停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、UPS(無停電電源装置)などの設置をおすすめします。

電気を上手に安全に使っていますか?



節電へのご協力をお願いします。

●具体的な節電方法について



エアコンの冷房温度は高めに設定し、フィルターはこまめに掃除をお願いします。



必要な照明以外は消灯をお願いします。また、白熱電球は電球型蛍光灯やLEDランプに交換していただくと、大幅な節電になります。



冷蔵庫の温度設定を強から中にしていただき、扉の開閉回数や時間を減らしていただきますようお願いいたします。

その他の節電に関する情報は電力会社のホームページをご覧ください。



